



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月6日

上場会社名 株式会社シグマクス・ホールディングス 上場取引所 東
コード番号 6088 URL <https://www.sigmaxyz.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 太田 寛
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役CF0 (氏名) 田端 信也 TEL 03(6430)3400
四半期報告書提出予定日 2024年2月8日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	16,378	32.5	3,299	47.1	3,371	48.3	2,379	77.2
2023年3月期第3四半期	12,364	9.4	2,244	7.6	2,273	9.3	1,342	5.7

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 2,174百万円 (44.2%) 2023年3月期第3四半期 1,507百万円 (18.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	56.43	-
2023年3月期第3四半期	31.71	-

(注) 2023年3月期及び2024年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	16,447	12,303	74.8	290.83
2023年3月期	14,461	10,878	75.2	261.53

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 12,303百万円 2023年3月期 10,878百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	16.00	16.00
2024年3月期	-	0.00	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	-	-	27.00	27.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無: 有

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	26.9	4,150	28.3	4,200	28.6	3,150	42.9	74.65

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期3Q	46,308,600株	2023年3月期	46,308,600株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	4,005,336株	2023年3月期	4,713,594株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期3Q	42,160,166株	2023年3月期3Q	42,326,905株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数 (四半期累計) の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託 (J-ESOP) 制度の信託財産として、株式会社日本カストディ銀行 (信託E口) が所有している当社株式及び業績連動型株式報酬制度の信託財産として、株式会社日本カストディ銀行 (信託口) が所有している当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。今後の見通し及び前提条件に関しましては、添付書類3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

わが国の経済は一部に足踏みもみられますが、緩やかに回復しています。先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されます。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっています。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分な注意が必要です。

このような環境の中、当社グループは、コンサルティング事業と投資事業の連携のもと、様々な産業および企業の価値創造、社会課題を解決する新たな市場や事業の創出を行っています。コンサルティング事業は、デジタル経済下で企業が取り組むべき主要なトランスフォーメーションとして、生産性革命によって大幅な業績向上を実現する「デジタル・トランスフォーメーション」、新たな成長エンジンとなるビジネスモデルを成長市場で構築する「サービス・トランスフォーメーション」、経営プラットフォームを革新する「マネジメント・トランスフォーメーション」を掲げ、多様な能力を擁したプロフェッショナルが、企業の課題解決と新価値の創造、企業間を連携した新事業や産業の共創に取り組んでいます。投資事業は、高度なデジタル技術の活用や、「まちづくり」「食・健康」など、リジェネラティブ&ウェルビーイング領域の投資案件を中心に手掛け、コンサルティング事業との連携により投資先企業の成長および企業価値向上を支援しています。

当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、16,378,541千円（前年同期比32.5%増）となりました。

売上原価は、8,925,700千円（前年同四半期比40.0%増）となりました。旺盛な需要に対応し、外注費が増加いたしました。

販売費及び一般管理費につきましては人員増や対面活動の活発化に伴う諸経費と採用費の増加により、4,152,845千円（前年同四半期比10.9%増）となりました。

売上高の増加により、売上総利益は1,463,986千円増の7,452,841千円（前年同四半期比24.4%増）、営業利益は1,055,879千円増の3,299,995千円（前年同四半期比47.1%増）、経常利益は1,098,077千円増の3,371,480千円（前年同四半期比48.3%増）となりました。

税金等調整前四半期純利益は3,371,343千円（前年同四半期比48.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、2,379,210千円（前年同四半期比77.2%増）となりました。なお、親会社株主に係る四半期包括利益は2,174,130千円（前年同四半期比44.2%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

(コンサルティング事業)

コンサルティング事業の当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高16,196,737千円（前年同四半期比30.5%増）、セグメント利益4,623,809千円（前年同四半期比23.5%増）となりました。

産業別では運輸、金融、情報通信、商社、小売、製造業を中心とした顧客への基幹システムのSaaS化支援、デジタル・トランスフォーメーション推進支援、新規サービス立上げ支援、各種規制対応支援などのプロジェクトが事業を牽引しました。

人財採用につきましては、当第3四半期連結累計期間において経験者69名、新卒61名が入社しました。新卒社員の研修は順調に完了し、10月から稼働を開始しました。2023年12月末時点のコンサルタント数は582名となっております。プロジェクト満足度は93ポイントと高い水準を維持しております。

(投資事業)

投資事業の当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高285,020千円（前年同四半期比1,076.4%増）、第2四半期に保有する上場株式の減損処理を行った結果、セグメント損失87,365千円（前年同四半期はセグメント損失205,951千円）となりました。

12月には家具やインテリアのマーケットプレイスを展開する株式会社ソーシャルインテリアに総額約4億円の新規投資を実施し、12月末時点の累計投資残高は評価差額を含め約32億円となりました。引き続き社会的な価値共創に資する投資を推進していきます。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は16,447,120千円(前連結会計年度末比1,985,487千円増)となりました。主な要因は、営業投資有価証券の増加(前連結会計年度末比1,039,708千円増)及び投資有価証券の増加(前連結会計年度末比978,326千円増)であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は4,143,881千円(前連結会計年度末比560,535千円増)となりました。主な要因は、未払法人税等の増加(前連結会計年度末比521,237千円増)であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は12,303,239千円(前連結会計年度末比1,424,951千円増)となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、配当金の支払い711,241千円(前連結会計年度同四半期591,152千円)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期第3四半期まで経過し、旺盛な需要を背景に社内人財の稼働率は計画値を上回って推移しており、加えて単価の上昇とビジネスパートナーの活用により売上高が大幅に伸長しました。当期末までの事業見通しも一定程度判明してきたため、2023年6月27日に公表いたしました2024年3月期連結業績予想及び2023年11月2日に公表いたしました配当予想の修正を行うことといたしました。

なお、利益の予想については、例年第4四半期に計上される、業績に連動して従業員等に支給される株式報酬等の影響を考慮し、算出しております。

詳細につきましては、2024年2月6日に公表いたしました「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,093,890	6,107,715
受取手形、売掛金及び契約資産	2,263,554	2,548,978
営業投資有価証券	2,171,591	3,211,299
その他	600,834	906,642
貸倒引当金	△116,122	-
流動資産合計	12,013,748	12,774,637
固定資産		
有形固定資産	253,366	232,383
無形固定資産		
ソフトウェア	400,943	314,744
ソフトウェア仮勘定	34,635	59,216
その他	7,105	6,252
無形固定資産合計	442,685	380,213
投資その他の資産		
投資有価証券	797,759	1,776,085
繰延税金資産	316,670	409,451
その他	637,403	874,348
投資その他の資産合計	1,751,832	3,059,885
固定資産合計	2,447,884	3,672,483
資産合計	14,461,633	16,447,120
負債の部		
流動負債		
買掛金	237,169	480,575
未払金	842,657	995,936
未払法人税等	339,489	860,727
賞与引当金	-	306,795
株式給付引当金	326,059	382,022
その他	232,954	236,139
流動負債合計	1,978,330	3,262,197
固定負債		
リース債務	5,681	2,739
株式給付引当金	340,542	128,548
役員株式給付引当金	1,106,107	595,224
資産除去債務	86,444	86,444
その他	66,238	68,728
固定負債合計	1,605,014	881,684
負債合計	3,583,345	4,143,881
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000,000	3,000,000
資本剰余金	4,768,396	4,781,572
利益剰余金	6,762,154	8,430,123
自己株式	△3,972,854	△4,023,968
株主資本合計	10,557,696	12,187,728
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	320,592	115,511
その他の包括利益累計額合計	320,592	115,511
純資産合計	10,878,288	12,303,239
負債純資産合計	14,461,633	16,447,120

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	12,364,507	16,378,541
売上原価	6,375,652	8,925,700
売上総利益	5,988,855	7,452,841
販売費及び一般管理費	3,744,739	4,152,845
営業利益	2,244,116	3,299,995
営業外収益		
受取利息	2,920	2,461
為替差益	-	1,239
講演料等収入	33,569	46,128
協賛金収入	10,335	21,977
雑収入	8,083	11,628
営業外収益合計	54,909	83,435
営業外費用		
支払利息	129	96
為替差損	17,142	-
控除対象外消費税等	4,536	3,708
投資有価証券運用損	-	5,964
雑損失	3,814	2,181
営業外費用合計	25,622	11,950
経常利益	2,273,402	3,371,480
特別損失		
固定資産売却損	-	81
固定資産除却損	-	56
特別損失合計	-	137
税金等調整前四半期純利益	2,273,402	3,371,343
法人税、住民税及び事業税	823,297	1,055,742
法人税等調整額	107,769	△63,609
法人税等合計	931,067	992,132
四半期純利益	1,342,335	2,379,210
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,342,335	2,379,210

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,342,335	2,379,210
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	164,997	△205,080
その他の包括利益合計	164,997	△205,080
四半期包括利益	1,507,332	2,174,130
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,507,332	2,174,130

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2022年5月9日 取締役会決議	普通株式	591,152	26	2022年3月31日	2022年6月6日	利益剰余金

(注) 配当金の総額には株式給付信託(J-ESOP)制度及び業績連動型株式報酬制度において、信託口が保有する株式に対する配当金39,807千円が含まれています。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

2022年6月24日開催の第14期定時株主総会決議に基づき無償減資を行い、2022年7月29日を効力発生日として資本金1,626,881千円及び資本準備金1,626,881千円をそれぞれ減少させ、その他資本剰余金に振替えております。これを主な要因として、当第3四半期連結会計期間末において資本金が3,000,000千円、資本準備金が1,250,000千円、その他資本剰余金が3,534,470千円となっております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年5月9日 取締役会決議	普通株式	711,241	16	2023年3月31日	2023年6月7日	利益剰余金

(注) 配当金の総額には株式給付信託(J-ESOP)制度及び業績連動型株式報酬制度において、信託口が保有する株式に対する配当金45,721千円が含まれています。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(電子記録移転有価証券表示権利等の発行及び保有の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

「電子記録移転有価証券表示権利等の発行及び保有の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第43号 2022年8月26日。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更による影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 (注) 2
	コンサルティング 事業	投資事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,352,339	12,168	12,364,507	—	12,364,507
セグメント間の内部 売上高又は振替高	57,750	12,060	69,810	△69,810	—
計	12,410,089	24,228	12,434,317	△69,810	12,364,507
セグメント利益又は 損失(△)	3,744,190	△205,951	3,538,238	△1,294,122	2,244,116

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は全社費用等1,294,122千円によるものであります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 (注) 2
	コンサルティング 事業	投資事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,134,141	244,400	16,378,541	—	16,378,541
セグメント間の内部 売上高又は振替高	62,596	40,620	103,216	△103,216	—
計	16,196,737	285,020	16,481,758	△103,216	16,378,541
セグメント利益又は 損失(△)	4,623,809	△87,365	4,536,444	△1,236,448	3,299,995

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は全社費用等1,236,448千円によるものであります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。